

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 2017夏季重点要求書の回答等について
交渉日時 平成29年6月22日(木) 15時30分～17時30分
交渉場所 宇治市役所本庁 6階602会議室
交渉出席者 当局側 宇野副市長 中上市長公室長 福井市長公室副部長 波戸瀬人事課長
岡部人事課副課長 岡野同課人事研修係長 西川同課給与係長
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計12人

概要	要
組合の主張	<p>2017夏季重点要求書の回答等を行った。</p> <ol style="list-style-type: none">① 市の財政状況に関連して、職員の給与についての報道がされているが、職員団体としては、財政事情を無視すべきというスタンスではないが、必要以上に強調されることについては違和感がある。当局としては、どのように考えているのか。② ファミリーサポート休暇については、これまでからも実態に即した運用改善の必要性を指摘してきたが、当局としてどのような検討をしているのか。③ 住居手当については、市としての考え方を明らかにすることを求めているが、具体的な回答が示されていない。どのような検討状況なのか。④ この間の状況をみると、特に専門職については、人材確保の観点から、適切な時期の対応を検討すべきであると考えているがどうか。
当局の主張	<ol style="list-style-type: none">① 本市の財政状況は厳しくなっており、今後は、歳入歳出全般にわたる検討も必要となってくる可能性がある。そうした中で、その対象のひとつとして、職員給与や勤務条件も議論も避けては通れないものと考えているところであり、報道にあるような、その部分のみを強調する意図はない。② 数年前から、他団体の状況を調査するなど、研究・検討をしているところであるが、他団体における取組例が極めて少なく、具体的な案を示す状況には至っていないところであるが、引き続き、検討していきたいと考えている。③ 自宅に係る住居手当については、廃止する団体が増えている状況がある一方で、近隣ではこれまでのスタンスから大きく見直した団体があり、これらの状況を踏まえた検討をしているところである。④ これまでからも、なるべく早期の対応が必要であると考えてきたところであるが、退職や再任用等の動向が不透明な状況があるなど課題がある。可能な範囲でスケジュールを見直すなどの対応はしていきたい。